

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名	M企画
(法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデア名	漆喰による医療用マスク接触感染防止技術の提案
-------	------------------------

提案の概要(200字以内)
レッドゾーンでは医療用マスク表面はコロナウイルスが蓄積されるため、マスクを経由した接触感染リスクが高い。当方は、以下二つの技術開発を行い(出願済)、同リスク回避を目的とする技術を提供する。 1 漆喰をマスク表層不織布へ担持させることで、呼吸に伴い抗ウイルス性の元となる漆喰のアルカリ活性が向上することを見出した。 2 担持させる漆喰の微細構造の最適化によって、アルカリ活性が8時間持続可能となった。

提案のきっかけ ※様式自由
2020年03月、米国疾病管理予防センター(CDC)より公開された医療用マスク再使用に関するガイダンスの中で、『同マスクによる最も重大なリスクは、マスク表層に付着するコロナウイルスによる接触伝搬である』との情報を得たことが開発のきっかけ。 PDF別添付2頁に記載。

さか

提案の狙い(実施することで解決される社会的課題または創出される価値) ※様式自由
当該技術が適用された医療用マスクが広く病院施設や福祉施設などで使用されることにより、施設内感染の重大リスクの一つを低減する。 PDF別添付2頁・7頁に記載。

実現可能性や実現に必要な要素等 ※様式自由
1. 実現に必要な技術的要素(以下検証を要す) 1 マスク表面での漆喰のアルカリ活性が抗ウイルス性に及ぼす影響。(PDF添付6頁参照) 2 マスク表層へのアルカリ処理が、顔の皮膚へ与える影響。(顔の皮膚には触れない構造) 3 環境の温湿度、人の呼気量などの違いが及ぼす影響 4 漆喰の不織布への塗布技術(既存の技術が使える) 5 漆喰が担持されたマスクの保管方法(既存技術が使える) 2. 実現可能性

当該技術を適用した医療用マスクの製造コストアップは限定的で、上記要素を専門機関や関連企業と共に検証した上で、実現可能と見込んでいます。

○事業化には特定の不織布メーカーが中心となって、不織布への漆喰担持加工、医療用マスクメーカーへの採用へと漕ぎ着けたい考えです。

○製品としてはJIS化が目標です。

提案の詳細 ※様式自由

PDF 別添付(全8頁)をご覧ください。

※ 各記入欄は適宜拡幅して構いません。

※ 様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。

※ その他、任意の参考資料も提出いただけます。

※ 応募いただいた時点で、上記内容(氏名、メールアドレス及び電話番号を除く応募用紙に記載されたすべての内容)の取扱いを県に一任するものとし、県が上記内容を第三者へ情報提供することに同意したものとします。